

「アクセスアップ」はブロガーみんなの関心事ですが、数字ばかり気にするのも変かな？ とか、どうすれば増やせるのかわからない、などと悩む人も多いでしょう。最初に、アクセスアップの目的と、そのための基本的な考え方を確認します。

なぜ、ブロガーは

アクセスを増やしたい？

Chapter

アクセスアップは、数字を増やすことだけが目的じゃない

「アクセスを増やしたい!」。プログラマーならば誰もが思うことです。ただ、数字はあくまでも指標の1つ。あまり振り回されないことも大切です。

||| 誰だって、書いたものは多くの人に読んでほしい

みなさんが、ブログを書き始めたころのことを、思い出してみてください。どのようなきっかけでブログを始めたか、覚えていますか?

「あこがれのプログラマーのようになりたくて」「文章をみんなに読んでもらいたいから」「友人が楽しそうにブログを書いていたので」といった人もいれば、中には「起業を目指してパーソナルブランディングのために」とか「好きなことを書くだけでお金になると聞いて」という人もいるでしょう。いずれにしても、プログラマーならば多かれ少なかれ「書くことが楽しい、好きだ」という気持ちがあると思います。

そうした人が何かを書いたら、できるだけ多くの人に読んでほしいと考えるのは当然です。プログラマーならば、誰しもアクセス数が気になるもの。がんばって書いた記事のアクセスが増えないのは悲しいですが、ブログを書き続けてアクセスが徐々に増えれば、モチベーションが上がります。

||| 数字では「どのように読まれたか」はわからない

ところで、「多くの人に読まれたい」と「アクセスを増やしたい」は、少し意味合いが違います。

アクセス数は「どれだけ読まれたか」(ページが表示されたか)のわかりやすい指標ですが、「どのように読まれたか」までは明らかにしてくれません。極端な例ですが、過激な発言や、思わせぶりのタイトルを付けた記事によって注目を集め、アクセスを増やすことは、それほど難しくありません。しかし、そのような記事を読んだ人たちが、ブログに好意的な印象を持ってくれるかということ、ちょっと考えにくいところです。

アクセス数は数字でわかりやすく結果が現れてしまうため、何を書いても数字が気になってしまうこともあります。ブログを始めたときにイメージしていた、自分の文章をみんなに楽しんでもらうことや、自己実現のために人脈を広げることを忘れて、ひたすら数字を追いかけて、数字の奴隷になってしまうこともあるのです。そうなる

とブログを書くこと自体を楽しめなくなり、数字が伸び悩むと、続けることが苦痛になってしまいます。

|| 大事なものは「ファン」になってもらうこと

前著「必ず結果が出るブログ運営テクニック100」では、ブログを運営する目的を「仲間」（趣味が合う友人との出会いや、人脈の拡大）と「収入」（アフィリエイト収入で、活動資金や生活費を得る）に設定する、としました。

パーソナルブランディングや人脈作りを意識する人も、趣味についてブログで語りたい人も、ブログを通じて仲間が増えることから新しいステップが見えてきます。また、ブログからの収入は、ブログの運営費や趣味の活動の資金になります。ぼくや共著者のするぷさんのように、ブログからの収入で生活している人もいます。

本書でも、「仲間と収入を目的にしよう」という基本的な考えは変わりません。そのためには数字として見えるひとりひとりに、読んで「おもしろかった」「役に立った」と感じてもらい、ファンになってもらい（「ファン」というと気恥ずかしく思う人もいるかもしれませんが、気に入ってもらい、好印象を持ってもらい、と言い替えてもいいでしょう）、いい関係を築くことが大切です。そして、多くの人との間に関係を築くことを目指しましょう。

ネットビジネス関係のセミナーなどで、ぼくは「月間100万アクセスのブロガー」と紹介していただくこともあります。しかし、アクセス数そのものが仲間を作るきっかけになるわけではありません。アクセス数よりも大事なことは、自分は何に興味があるか、何を考えているか、何ができるか、といったことを発信し続けていくことです。それによって、関心を持ってくださった人にイベントに呼んでいただけたり、Twitterなどで話しかけていただけたりしているのだと思います。

そして、自分を知ってもらい機会を最大限に増やすためにやっていることが、本書で解説するアクセスアップのテクニックです。本書のテクニックは、どれも単純に数字を増やすことだけを狙ったものではありません。いかに価値のある記事を書き、それを多くの人に届け、ファンになってもらい、仲間や収入につなげるかを考えています。

数字はもちろん気になりますが、励みにはしても、振り回されないようにしましょう。本書のテクニックを身に付け、使いこなせるようになれば、結果はあとから付いてきます。 [📄](#)

筋トレのようにコツコツ書き続けることがアクセスアップの大前提

ブログのアクセスアップにもっとも大事なことは、派手なことではなく、日々の地道な取り組みです。その考え方は筋トレに似ています。

フィードリーダー

ブログの記事情報を記した「フィード」と呼ばれるファイルを読み込み、新着記事のチェックに利用できるソフトウェアやサービス。「RSSリーダー」とも呼ばれる

SEO

「Search Engine Optimization」(検索エンジン最適化)の略。検索エンジン(主にGoogle)の検索結果上位に表示され、アクセス誘導を増やすための施策

ソーシャルメディア

Facebook、Twitterなど、ユーザーがコミュニケーションでできるサービス全般を、本書では「ソーシャルメディア」と呼ぶ

書き続けることが、アクセスアップの大前提

アクセスアップに取り組む前に、ブログがアクセスされる仕組みについて確認しておきましょう。アクセスの経路には、主に次の3つがあります。

- ①ブックマークやフィードリーダーからの直接アクセス
- ②検索エンジンからの検索アクセス
- ③ソーシャルメディアなどからの参照アクセス

多くの人がファンになって、新しい記事を公開するたびに直接アクセスしてくれたら、もっとも安定してアクセスが得られますが、そう簡単にはいきません。そこで、ファンを獲得するべく記事を書き続けながら、検索エンジンからのアクセスを増やす「SEO」と、TwitterやFacebookからのアクセスを増やす「ソーシャルメディア連携」の2つを行っていきましょう。

本書では「書き続けて、記事の数を増やす」ことを基本の取り組みと考え、そこにSEOとソーシャルメディア連携を組み合わせて、アクセスアップを目指します。書き続けて記事を増やさなければSEOやソーシャルメディア連携の効果も上がらず、SEOやソーシャルメディア連携をせずに書き続けるだけでは、さほどアクセスは増えません。

両方をバランスよく行い、2つの取り組みの掛け算でアクセスを増やしていきましょう。すると、そのうちの何パーセントかの人がファンになって、継続的にアクセスしてくれるようになるはずですよ。

書き続けて「ブログ筋肉」を鍛えよう!

書き続けることは、ブログの基本中の基本です。ブログは、どこかで「完成」するものではありません。書き続け、新しい記事を公開し続けていることが、読者にとっても、書き手である自分自身にとっても、ブログの存在価値そのものです。

ブログの記事を増やしていく取り組みを、ぼくは「ブログ筋肉を鍛える」と呼んでいます。1本1本の記事が少しずつアクセスを稼ぎ、それが束になることで、大きなアクセス数になります。記事数を増やす(筋繊維を増やす)ことと、記事ごとのアクセスを増やす(1本ごとの筋繊維を太くする)ことによって全体のアクセスが増え、地道に書き続けること(トレーニングの継続)が重要になることも、筋肉に似ています。

大リーグで活躍するイチロー選手の言葉に、「打率は変動し、自分でコントロールできない面もあるが、安打数は自分の努力で積み重ねることができる。だから自分は打率ではなく安打数に目標を置く」といったものがあります。

ぼくは、これを聞いて大きな衝撃を受けました。ブログに当てはめると、アクセスはさまざまな要因によって増減し、一喜一憂の原因にもなりますが、記事数は減ることがなく、右肩上がりに積み重ねることができる、ということです。

「練習量は裏切らない」という言葉もありますが、スランプのときでも基礎練習を欠かさないことが復調のきっかけになるように、ブログの記事数は、常に自分を裏切ることなく、アクセスの源になり、心の支えにもなってくれます。あまり結果が出ないときでも、積み重ねた記事数が必ず結果に結び付くと信じていれば、安定した気持ちでブログを楽しめるようになります。そして、実際に、記事数が増えていけばアクセスも増えやすくなり、好循環を生み出すことも楽になります。 するふ

Column

||| 結果に結び付かない「オーバーワーク」に注意しよう

いくらブログの記事数が増えても、まったくアクセスが増えないこともあります。ボクシングでは「オーバーワーク」という言葉が使われますが、やみくもにがんばりすぎたために、かえって筋肉がやせ細ってしまうことがあるのです。オーバーワークを防ぐためには、体調をチェックしながら適切に休養を取るなどして、トレーニングの効果を最大化するよう調整します。

ブログでも、がんばって書いた記事と同じような内容がほかのサイトにすでに載っていたり、言いたいことを詰め込みすぎて伝わりにくかったり、ブログが検索されにくい状態になっていたり、さまざまな要因で、努力が結果に結び付かないことがあるものです。そのような場合は、SEOやソーシャルメディア連携に集中して取り組んでみましょう。具体的な方法は、以降のテクニックの中で解説していきます。

検索エンジンとソーシャルメディアの両方からアクセスを底上げる

ブログにアクセスを集めるために、検索エンジンとソーシャルメディアは、非常に重要な存在です。両方にうまく最適化する方法を身に付けましょう。

HTML

「HyperText Markup Language」の略。Webページを作るための言語で、ブログツールでは、入力した記事をHTMLのテンプレートに当てはめて、Webページを生成する

|| アクセスを増やす2つの取り組み

SEOとソーシャルメディア連携は、書き続けて積み重ねた記事に、読者を呼び込むために行います。記事を書き続けることで少しずつアクセスとファンを増やし、SEOとソーシャルメディア連携で増えるペースを底上げる、というイメージで考えましょう。

検索エンジンとソーシャルメディアからアクセスしてくれる読者には、それぞれ異なる特性があります。検索エンジンからの読者は、特定の情報を求めている人で、記事をよく読み、広告をクリックしてくれる可能性も高い人たちです。また、検索エンジンからのアクセスは変動が少ないことも特徴で、安定したアクセスを得るためには、SEOの取り組みが欠かせません。

ソーシャルメディアからの読者は、TwitterやFacebookなどのリンクからアクセスして軽く目を通していく場合が多く、検索エンジンからの読者ほどに熱心に読んでくれることは少ない傾向があります。そして、アクセスの波が大きいことも特徴です。どこかで話題になると大量のアクセスが集中し、話題が次々と広まっていくことで、連鎖的にアクセスの波が起こることもあります。

ソーシャルメディアからのアクセスを集めるためには、おもしろい記事、「読みたい!」と思わせるタイトルの記事を書くことが重要になります。ソーシャルメディアは、人のつながりを通じて情報が流通するメディアなので、人の気持ちを動かす記事や、思わず誰かに紹介したくなるような記事が、アクセスを増やしやすいく傾向があるためです。

一方で、検索エンジンからのアクセスを増やすには、Webサイトや検索エンジンの基本的な仕組みを知り、適切な情報があるHTML文書(ブログの記事のWebページ)を、技術的に正しい書き方で作っていくことが重要になります。

本書では「ファンにも検索エンジンにも好かれるブログ」を作っていくことを目指します。これは、人間が読む記事としておもしろく、同時に、検索エンジンのプログラムが処理する文書としても適

切で価値があると判断されるブログ、ということです。

|| 「書く」ことから始めてステップアップしていこう

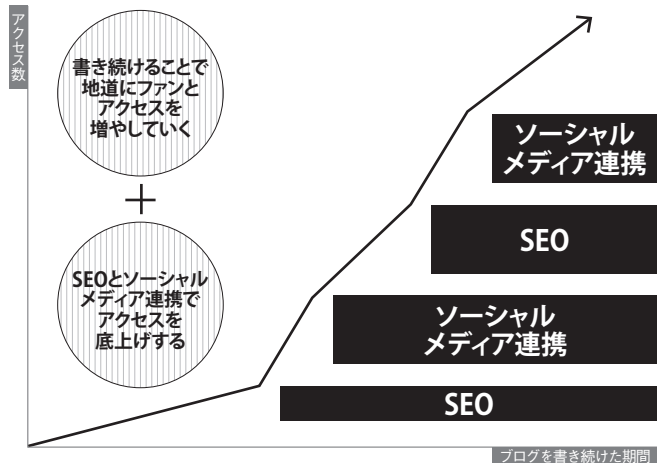
本書では以降、アクセスを増やすことを意識しながらブログを書き続けるテクニックを、Chapter 02とChapter 04で解説します。そして、Chapter 03では、SEOとソーシャルメディア連携のテクニックを解説します。

Chapter 02は、「書き続ける」の前半です。記事を書いて公開するまでの段階で、どのようにネタを探すか、どのように記事にするか、といったことを主に解説します。Chapter 02のテクニックを使って数十本ほど記事を書いたら、Chapter 03のテクニックを少しずつ取り入れて、徐々にアクセスの底上げを目指しましょう。

そしてChapter 04は「書き続ける」の後半に入ります。公開した記事がどのように読まれたか、アクセス解析などのレポートを見て効果測定を行い、次の記事に向けて、ネタ選びや書き方などを改善していきます。Chapter 02、03のテクニックを取り入れながら、100本程度の記事を積み重ねた状態を想定しています。

Chapter 05は、ここまでのテクニックを試しながら経験を積んだ人に向けて、ブログを書き続けた先に何があるか、どのようなことが起こるのか、ぼくたちが10年間ブログを書き続けた経験を基に、お話します。

アクセスを増やし、ファンを獲得し、仲間や収入を得ながら、ブログを楽しんでいきましょう。



||| 本書で想定するブログ環境

本書では、すでにブログを運営している方、または、基本的な運営ができるレベルの知識がある方を想定した解説を行っています。以降では、次のような環境、および知識を前提に解説を行います。環境が異なる場合は、一部のテクニックがそのままでは使えないこともあります。ご了承ください。

||| レンタルサーバー＋独自ドメインのサーバー環境

本書では、自分が管理するサーバー（レンタルサーバーなど）で独自ドメインを設定し、ブログツールとして「Movable Type」または「WordPress」をインストールした環境を想定しています。この環境はカスタマイズの自由度が非常に高く、テンプレートの編集やサーバー内のディレクトリ構成の変更など、SEOのために求められる細やかなカスタマイズが可能になります。

「livedoorブログ」「はてなブログ」などのブログレンタルサービスを利用している場合は、カスタマイズ可能な範囲が制限される場合があります。

||| HTMLとCSSの、多少の知識

SEOに関する部分では、Webページの制作に必要な「HTML」と「CSS」のソースコードを使用する部分があります。「タグ」とは何かを知っている、ブログツールのテンプレートの編集画面でHTMLの簡単な編集はしたことがある、という程度のHTMLとCSSの知識があることを前提として、解説を行っています。

||| Google Analytics、Google AdSenseやアフィリエイトサービスの利用

Googleの「Google Analytics」は、ブログの効果測定に必要なアクセス解析サービスの定番です。また、ブログから収入を得るために必要な広告・アフィリエイトサービスとして、Googleの「Google AdSense」、Amazonの「Amazonアソシエイト」、楽天の「楽天アフィリエイト」は、すでに利用中であることを想定して解説を行っていきます。

||| MacとiOS端末の利用

本書の著者2人は、アップルのパソコン「MacBook Air」や「MacBook Pro」、およびアップルのモバイルOS「iOS」を搭載したスマートフォン「iPhone」と、タブレット「iPad mini」を利用してブログを書いています。

WindowsパソコンやAndroidに比べ、MacやiOSの環境はブログ関連のソフトウェアが非常に充実しているため、本書で解説するテクニックをフルに使いこなしてブログを運営するには、MacおよびiOS端末の利用をおすすめします。

代表的なレンタルサーバーや、広告・アフィリエイトサービス、ブログ運営に役立つおすすめのアプリなどは、233ページからの付録で紹介しています。参考にしてください。